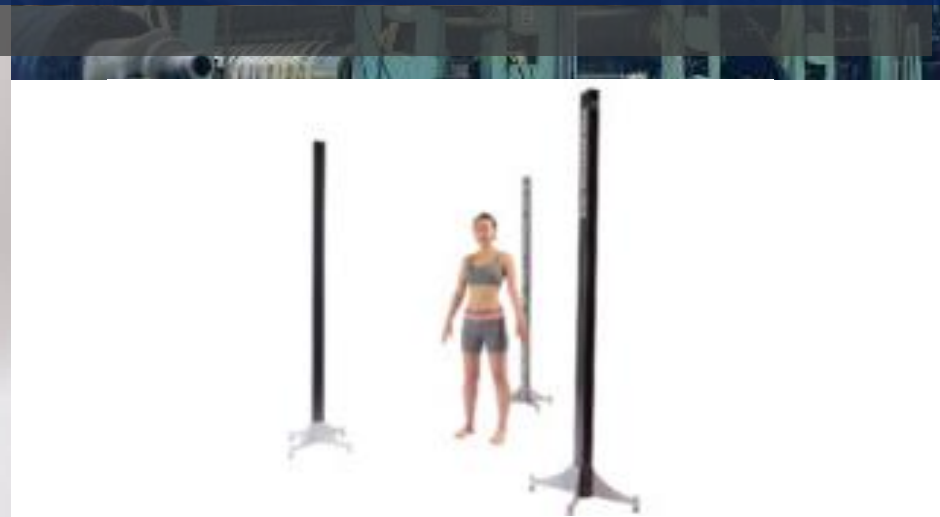
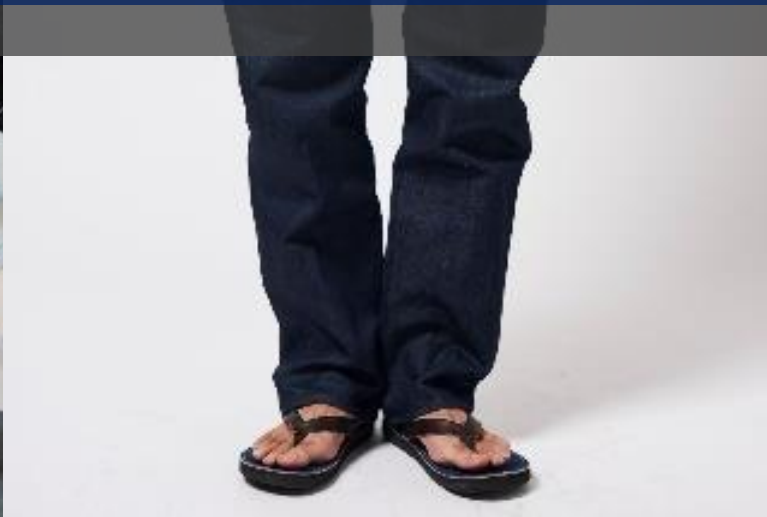




エシカルデニムプロジェクト 地域未来ビジョン

エシカルデニム協議会

2024年3月



01 - 福山のデニム産業の現状・課題

02 - めざす姿・取組指針

03 - ターゲット

04 - 実施事業

05 - 事業ロードマップ

06 - 取組体制

01 | 福山のデニム産業の現状・課題

○歴史

- ・福山藩初代藩主水野勝成が綿栽培を奨励
- ・江戸時代後期、「備後絣」が生まれ日本三大絣に
（三大絣の久留米絣はそのまま、伊予絣は今治タオルに進化）
- ・備後圏域（福山・尾道・三原・府中・世羅・神石高原・笠岡・井原）
の主要産業として栄える
- ・アメリカからデニム生産手法を習得し、発展

○特徴

- ・デニム生地生産量全国シェア8割（倉敷にもデニム生地を卸す）
- ・BtoBの中小企業を中心とした地域密着型産業
- ・インドや中国など世界では1つの縫製会社の城下町が多いなか、
クラスターの的に多様な会社が集積し、備後圏域全体で85社以上存在
- ・厚手生地の織布や藍染めなど専門的な技術を持った事業者が集積しているため、
デニム生産における全工程を展開できる

○課題とこれまでの取組

- ・一般的に認知が低く、産地である福山への来訪が少ない
- ・世界的高級ブランドへのOEM生産を行っているが、その認知が低い
- ・メイドイン福山選択の付加価値・インセンティブが弱い
- ・繊維工業の従業者数が減少傾向
- ・一早くエコの取り組みを着手（坂本デニム等）
- ・ブランディングへの取組も増加傾向（FFG等）
- ・備中・備後ジャパンデニム事業として世界的な取り組みも着手（R5年度中策定予定）



本プロジェクトのめざす姿

世界に誇るデニム産業をエシカルブランディング！

～認知・来訪・販売拡大からファンや応援団による地域活性化～

○取組指針

- ①環境配慮をしている福山産デニム及び関連商品をエシカルデニムと呼び、その製造工程を産地ツーリズムによって発信していく。
- ②デニム生地 の 質、加工技術を根幹とし、環境や地域への配慮を可視化していくことで、福山市のデニムの歴史や製造のこだわりなどの魅力を伝えていく。
- ③消費者と生産者の顔が見える関係を構築することで親近感や購買意欲を醸成していく。
- ④ビジョンに共感する関係事業や団体と連携しながら、地域のために活動する。

エシカルデニムの例

- ・ 製造工程の省エネ化や排水処理などにより、環境に配慮して作られた製品
- ・ オーダーメイドや端材利用等によって廃棄ロスや過剰在庫の削減につながる製品
- ・ 廃棄素材（さとうきびや麦芽の搾り滓、ばら剪定枝など）のアップサイクル製品
- ・ 回収したデニムのリサイクル製品

○想定ターゲット

	想定ターゲット	ターゲット選定理由
国内	<ul style="list-style-type: none"> ◎産地ツーリズム興味層 現場を見てみたいという思いのある人 ◎産業観光の視察 企業自体の取組を学びたいBtoBマーケット ◎アパレル業界関係者 デニムに関する商品の取り扱いのある人 専門学校など 	<ul style="list-style-type: none"> ◎産地ツーリズムの来訪者は多く、ファクトリーツーリズムにも一定の興味関心層がいる。 参考事例：工場の祭典（新潟県燕三条） RENEW（福井県鯖江市） ◎企業研修視察が増加傾向で、特にSDGs関係の需要がある。 参考事例：エイベックス（三重県） ◎アパレル業界での認知度を高めることが福山のデニム産業のブランド価値向上に直結する。 販売担当や専門学校等で製造過程を学ぶ需要が一定程度ある。
訪日観光客	<ul style="list-style-type: none"> ◎欧米豪のホンモノ指向の方 広島に平和学習で来た延長で捉える 広島のものづくりの価値も認識 広島プラス1としての位置づけに ◎アジア圏のリピーター ものづくり等に興味の深い層 ◎インセンティブトラベル 海外ハイブランド企業など 	<ul style="list-style-type: none"> ◎広島は欧米豪を中心とした観光客が多く、ゴールデンルートとして確立されている。知的好奇心が高い層やものづくりに触れたい層などが見込める可能性がある。 ◎アジア圏、特に台湾・香港等のリピート率の高い国の方は、新しい旅のテーマ性を探している。 ◎海外ハイブランド企業は自分達にしかできない特別なインセンティブ旅行を求めており、日本は人気がある。また、来る段階でターゲットが絞られているので、購買にも繋がりやすい。

○顧客がより福山デニムに愛着を持っていくステップ

STEP①

興味を持つ

- ・ 業界内のインフルエンサーによる拡散
- ・ ツアー自体のクチコミから流入
- ・ 産地ストーリーに共感

STEP②

ツアー参加
購入

- ・ 各工場生産者と交流して工場の産品購入
- ・ マイジーンズをオーダーメイド
- ・ セレクトショップでの購入

STEP③

日常利用

- ・ マイジーンズが家に届き継続利用
- ・ 購入した商品を日々利用

STEP④

利用者交流

- ・ 利用シチュエーションのSNSでの共有
- ・ 共感者同士の交流拡大
- ・ 福山の他産業の情報提供

STEP⑤

福山に再訪

- ・ 福山に再度訪れてメンテナンス
- ・ 福山の他産業に触れ合い好きになる

本プロジェクトのめざす姿

世界に誇るデニム産業をエシカルブランディング！

～認知・来訪・販売拡大からファンや応援団による地域活性化～

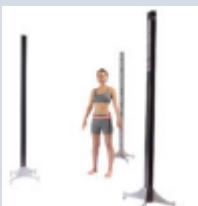
エシカルデニムの事業展開

①エシカルデニム開発



循環型産業の形成

- ▷ デニムの回収
- ▷ アップサイクル商品開発 (オリジナルブランド作り)



製造工程の環境負荷軽減

- ▷ 3Dスキャンを活用したマイデニムづくり
- ▷ エシカルな職場づくり
- ▷ 環境負荷の可視化

②周遊型観光コンテンツ開発



コンテンツの充実

- ▷ 周遊ツアーの拡充
- ▷ 体験コンテンツ創出

③製品・ツアーの販路拡大



認知・ファン拡大

- ▷ 情報発信
- ▷ 連携
- ▷ ショップ展開

エシカルデニムによる地域創生



雇用創出



シビックプライド醸成



関連産業の拡大

04 | 実施事業 | ①エシカルデニム開発（環境負荷軽減）

○循環型産業の形成

デニムの回収からアップサイクルの取組を仕組み化することで、廃棄物を処分せずに循環させる流れを生み出し、環境負荷を軽減するとともに、「デニム生産量も日本一、回収量も日本一」をめざす。

▷デニムの回収

-概要-

市内施設にデニムの回収BOXを設置し、回収したデニムをアップサイクルし、新たなデニムのアイテムとして展開していく。

【更なる展望】

民間施設及び公共施設へ設置場所を拡大し、デニムの回収を市全体での取組につなげていく。



▷エシカル製品の開発

-概要-

回収したデニムや製造工程で発生する端材など、捨てられているものに新たな価値を与えアップサイクルさせるなど、エシカルな製品を充実させる。

【更なる展望】

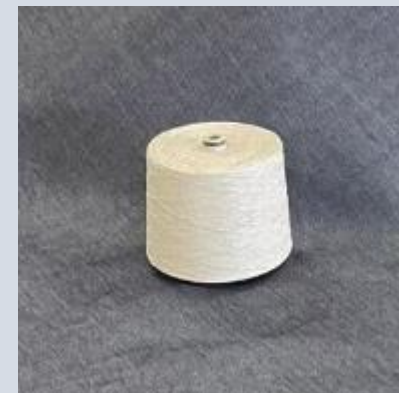
ニーズを確認しながら効率化によるコストダウンにも取り組んでいく。オリジナルブランド設立も見込む。



デニムの残糸で作ったソックス



規格外デニムで作ったトートバッグ



ばらで作ったデニム生地

○製造工程の環境負荷軽減



先端技術を活用することで、受注生産を強化し過剰在庫や廃棄ロスを削減するとともに、現場で働く人の負担を軽減していく。

原材料から撚糸・染色・縫製などのデニムの生産工程を可視化することで、各事業所の環境負荷軽減の取組を伝えるとともに、生産者の顔が見えることでの安心感を与え、エシカル消費に訴求していく。

▷ 3Dスキャンを活用したマイデニムづくり

-概要-

3Dボディスキャナーの活用によって、オーダーメイドを身近に感じてもらい、廃棄ロスの削減や自分だけのデニムへの愛着醸成につなげる。

【更なる展望】

- ・ジーンズだけでなく、ジャケット等の製品への拡充
- ・アパレルCAD上での仮想試着

測定誤差わずか2mm以下の高性能ボディスキャナー



全身を約100万点の超高密度で正確に撮影し、3Dデータ化する。計測時間はわずか**0.5秒**。この技術を活用し、オーダーメイドによるジーンズの製造を行う。



計測結果の画面

72か所のサイズを計測し、体型データをビジュアル化。

04 | 実施事業 | ①エシカルデニム開発（環境負荷軽減）

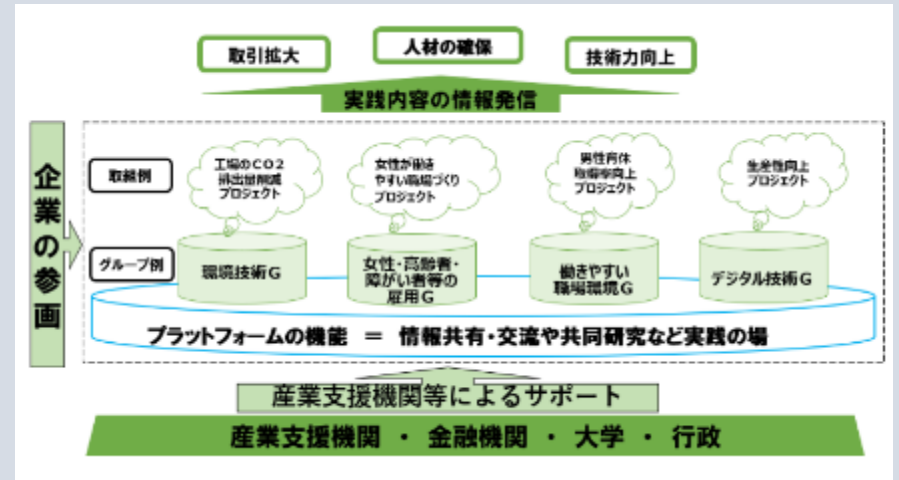
▷エシカルな職場づくり

-概要-

新たな技術の開発・導入などにより、省エネ化や働き方改革を進め、環境にも人にも優しい職場づくりを行っていく。また、グリーンなものづくり企業プラットフォームへの参加によって、企業同士で共有・連携し、企業の成長や人材の確保などにつなげていく。

【更なる展望】

- ・地元採用の強化



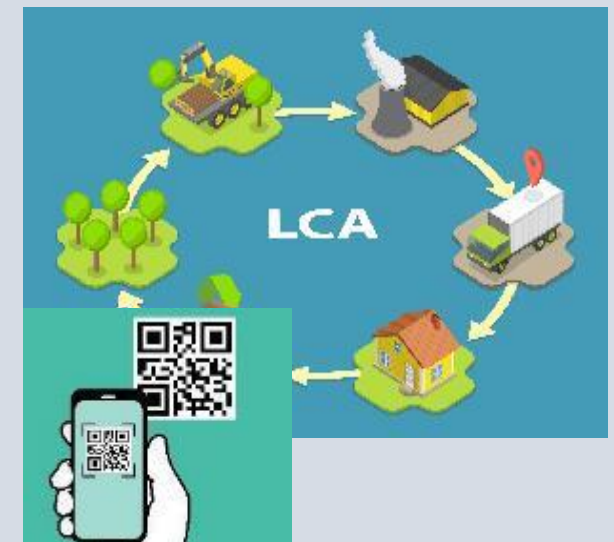
▷環境負荷の可視化

-概要-

トレーサビリティ（原材料から加工、流通、販売までの各工程の仕入れ先や製造者を記録して、商品タグのQRコードによって確認可能なシステム）の実施によって製品に関わる人や環境への配慮の取組を可視化する。

【更なる展望】

- ・環境マネジメントの国際規格への対応
（製品1点あたりの製造時に発生する温室効果ガスの排出量を数値化等）



04 | 実施事業 | ②周遊型観光コンテンツ開発



「エシカルデニムができるまで」を巡る 誰かに語りたくなる観光ツアー

福山市内のサプライチェーンを巡る観光ツアーを開発。
産業や企業について情報を得るだけでなく、
ものづくりの現場ならではの工場のスケール、
建物の雰囲気、現場の音や温度等を五感で感じることができる。

「エシカルオーダージーンズ」を体験するツアー例



－概要－

ジーンズができるまでの各工程を巡り、生産者のこだわりや伝統的な技術、環境への配慮など、福山でしか味わえないホンモノのデニムづくりを体験する。ツアー後に3Dボディスキャナーで体型を計測し、ツアー終了後に完成したオーダージーンズを受け取ることができる。

ツアーの流れ

朝

染色



経糸の染色
工程を学ぶ

織布



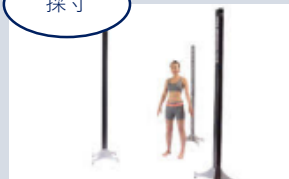
生地ができる
までを学ぶ

縫製



縫製のこだわり
を学ぶ

採寸



スキャン

注文



生地やフィット感
を選ぶ

後日



ジーンズ受渡

モデルプラン（日帰り）

バスツアー

12:00-12:50 (スキャン有) iti Setouchi 集合
スキャン実施
12:50-13:00 iti Setouchi 集合・ツアー受付
13:00-13:30 バスで移動
13:30-15:00 坂本デニム株式会社見学
15:00-15:30 バスで移動
15:30-17:00 篠原テキスタイル株式会社見学
17:00-17:40 バスで移動
17:40- iti Setouchi or福山駅にて解散

デニム作成あり：55,000円～（90,000円～）

デニム作成なし：10,000円（30,000円）

() 内の料金は、チャーターツアー時の料金
(2名様以上での催行)

～の記載は、使用によって追加カスタマイズを想定

サイクリングツアー

10:00-10:50 (スキャン有) iti Setouchi 集合
スキャン実施
10:50-11:00 iti Setouchi 集合・ツアー受付
11:00-12:45 e-bikeにて移動
(繊維の歴史スポットを辿りながら 昼食弁当)
12:45-14:15 坂本デニム株式会社見学
14:15-15:00 e-bikeにて移動
(旧街道沿いのテキスタイルロード)
15:00-16:30 篠原テキスタイル株式会社見学
16:30-17:30 e-bikeにて移動
17:30 iti Setouchiにて解散

デニム作成あり：53,000円～

デニム作成なし：8,000円～

販売 目標		定期 ツアー	チャーター ツアー	繊維以外の 産業観光ツアー	参加者	デニム購入
	1年目	2か月に1回	数回	内容検討	50人	25着
	2年目	2か月に1回	年5回	2か月に1回	100人	40着
	3年目	2か月に1回	年15回	2か月に1回	130人	70着

○コンテンツの充実

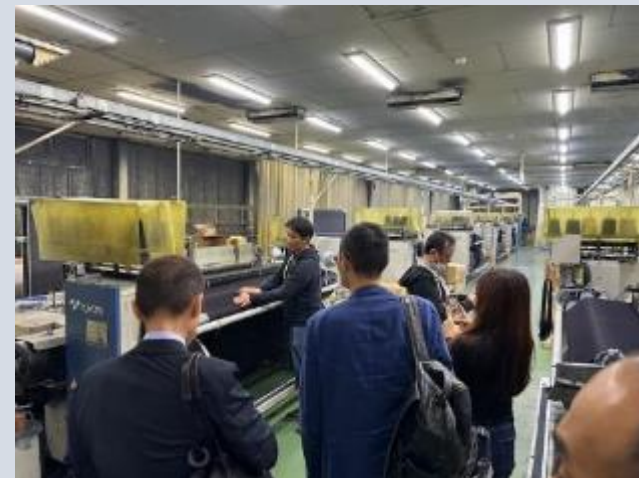
▶工場見学ツアーの拡充

-概要-

SDGs対応など企業視察ニーズが国内外において増加傾向にあるなど、多様なニーズに応じたツアーバリエーションを増やしていく。ツアーの訪問先連携企業を増やしていくとともに、多言語対応やツアー自体の環境負荷の軽減にも取り組んでいく。

【拡充ツアー例】

- ・企業視察向けツアー
- ・福山市民が参加しやすい企画
- ・海外向けツアー



▶体験コンテンツ創出

-概要-

福山ならではの体験を通じて、福山のデニムが生まれた歴史や特徴、生産者の生き様を知り、その魅力や思いに共感して誰かに自慢したくなる流れに作り出す。さらに、旅から帰った後も見返すことで愛着がわくような仕掛けづくりを行っていく。

【コンテンツ例】

- ・ストーリーブックの作成
- ・デニムのリサイクル工程体験
- ・福山ならではの土産、ノベルティ



○商品認知・ファン拡大



製品・ツアーの商品認知・ファンの拡大を、「情報発信」「連携」「ショップ展開」の取組により加速させていく。

情報発信…愛着を持ってもらえるステップを構築
連携…福山の他の地域資源や他業種・他地域との連携強化
ショップ展開…エシカルデニムを購入できる場所の増加

▷情報発信

-概要-

各種販売チャンネルやSNSを通じた情報発信を拡充していく。

【発信例】

- ・旅行会社（OTA含む）やDMO等と連携
- ・自社HPやデニム関係団体SNS等での発信
- ・世界バラ会議や大阪・関西万博などの国際イベントを見据えた発信
- ・町内会など地元への発信

▷連携

-概要-

デニム産業関係団体等と連携し、ツアーの行き先や顧客接点を充実させる。また、福山市の地域資源や様々な業界や地域との連携を進めていく。

【連携例】

- ・福山の「食」や「産業」
- ・他の産地ツーリズム
（新潟県燕三条・福井県RENEW、LOCAL CRAFT JAPAN等を想定）
- ・回収ボックスの設置拡大 など

▷ショップ展開

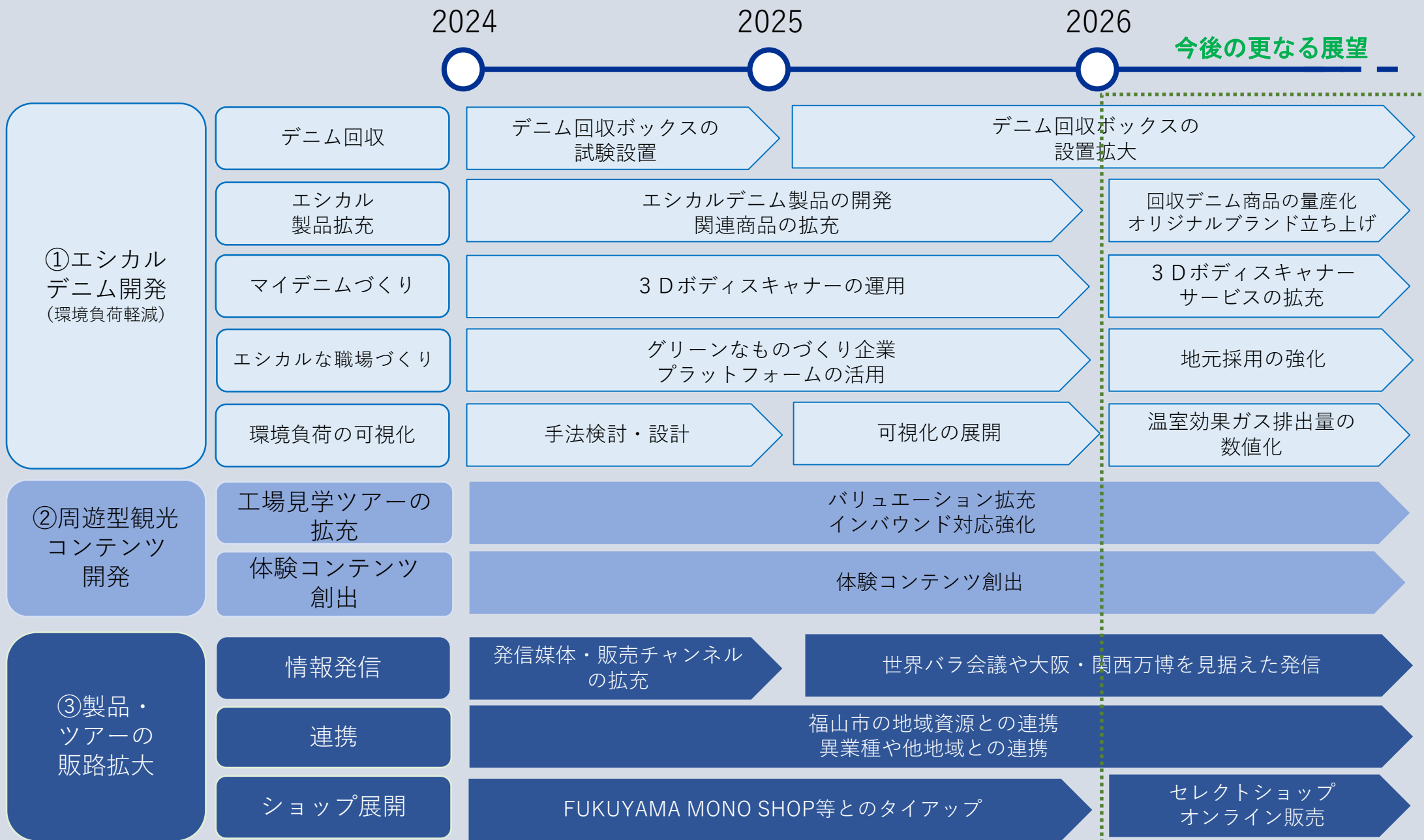
-概要-

市内のイベントやマルシェ等（iti SETOUCHI等）に出店し、エシカルデニムの認知向上を図る。福山駅周辺の売店（FUKUYAMA MONO SHOP等）と連携した販売強化を図る。

【更なる展望】

- ・オンラインショップやセレクトショップ展開

05 | 事業ロードマップ



○エシカルデニム協議会メンバー

福山観光旅行株式会社

漆川治樹

【主な役割】

- ・ ツアー販売、ガイド、運営
- ・ ツアー及び製品広報
- ・ オーダーメイドエシカルデニムの購入者対応

篠原テキスタイル株式会社

篠原由起

【主な役割】

- ・ 工場見学対応
- ・ エシカル商品開発
- ・ デニム事業者との連携
- ・ ツアー及び製品広報

株式会社Rinnovation

山本直人
富井岳

【主な役割】

- ・ エシカル商品開発
- ・ 3Dボディスキャナーの設置・運用
- ・ ツアー及び製品広報

(参考資料) エシカルデニム協議会の議論経過

	日	議事内容
第1回	10/26	1) 地域未来ビジョンの趣旨説明 2) ビジョン策定に向けた今後の進め方, スケジュールについて 3) めざす将来像について
第2回	11/8	1) 現状課題の整理 2) めざす将来像の整理 3) 活動コンセプトの検討 4) 実施する事業案の洗い出し 5) アドバイザリー会議に向けた論点整理・資料作成
<p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第2回アドバイザリー会議11/10】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地視察後、アドバイザーから助言 (ターゲット設定、売り出し方、販路、エシカル要素の明確化など) </div>		
第3回	11/28	1) アドバイザリー会議の振り返り 2) ビジョンのたたき台を基に、各項目の内容・表現整理 3) モニターツアーの内容、有識者から助言いただく視点の整理
<p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【モニターツアー12/18】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エシカルの専門家など8名参加 (ターゲットやツアー行程、福山ならではの体験など) </div>		
第4回	1/15	1) モニターツアーの振り返り 2) デニムの特徴・強みの再確認 3) 目的・めざす将来像 4) 実施事業の具体検討
第5回	1/31	1) めざす姿・活動方針の最終確認 2) ロードマップ案を基に「確実にやること」と「いつかやりたいこと」の整理 3) ビジョン案の各項目の内容・表現整理
第6回	2/21	1) ビジョン最終案の確認 2) 事業実施の打ち合わせ
<p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第3回アドバイザリー会議 3/14】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域未来ビジョンの最終案に対する意見交換 </div>		
第7回	3/14	第3回アドバイザリー会議の意見をビジョンへ反映

2024年3月 地域未来ビジョン策定